

夏目漱石と 漱石山房 其の二



夏目漱石画 水石と椿(「漱石遺墨 第二」より)

2024年12月19日(木)ー2025年4月20日(日)

会場：新宿区立漱石山房記念館 2階資料展示室

開館時間：10:00～18:00 (ただし入館は17:30まで)

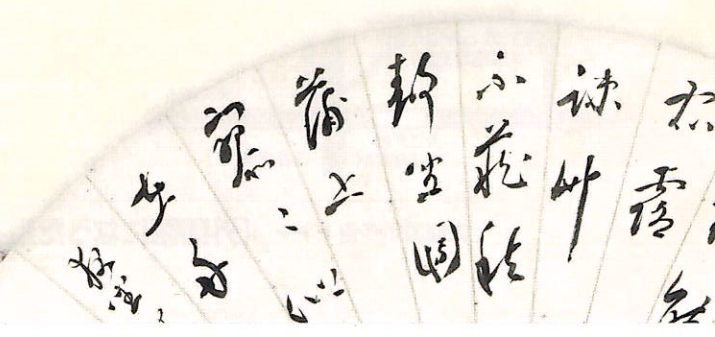
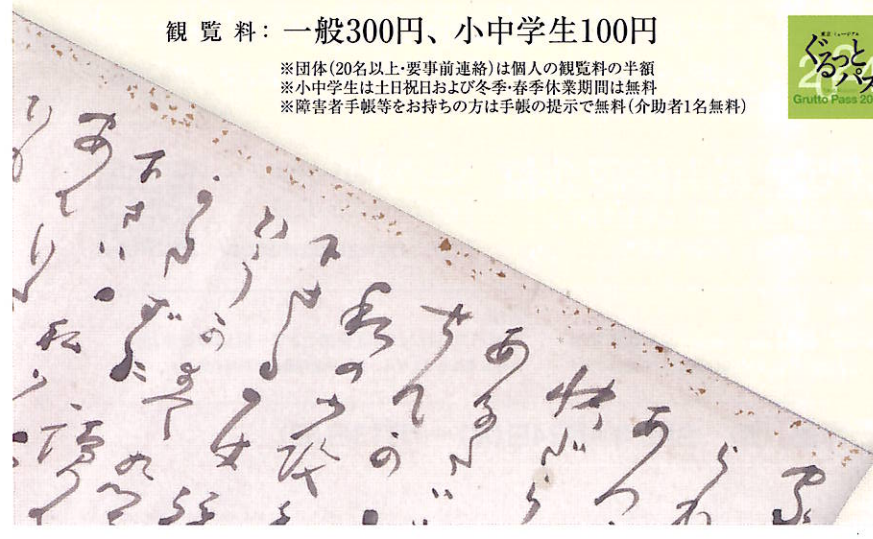
観覧料：一般300円、小中学生100円

休館日：毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

主催：新宿区立漱石山房記念館
(指定管理者：公益財団法人新宿未来創造財団)

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7
TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211
<https://soseki-museum.jp/>

※団体(20名以上・要事前連絡)は個人の観覧料の半額
※小中学生は土日祝日および冬季・春季休業期間は無料
※障害者手帳等をお持ちの方は手帳の提示で無料(介助者1名無料)

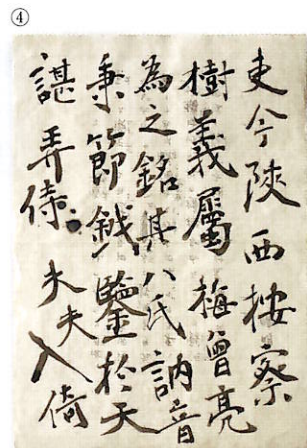
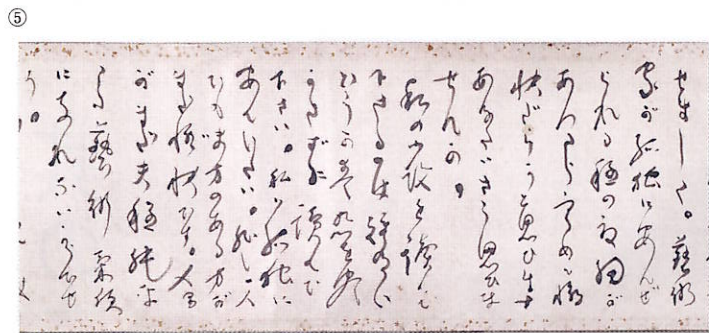


夏目漱石と 漱石山房 其の二

漱石山房記念館では、これまで多くの方からの寄贈や基金への寄附により貴重な資料を収蔵することができました。本展示では、そうした皆様の協力によって収集された漱石山房記念館の代表的な資料を紹介いたします。漱石山房記念館資料の核となる「松岡・半藤家資料」や、近年新たに収蔵された資料を中心に、夏目漱石と漱石山房をたどります。

直筆の原稿や美しい初版本は、見る者を漱石が生きた時代にタイムスリップさせます。心中を吐露した親しい人への手紙からは、創作の苦悩がしのべられます。書や水彩画の作品は文豪の意外な一面を伝えます。

漱石が亡くなるまでの9年間を過ごした漱石山房の地で、ゆかりの資料を通じて漱石の生涯や作品世界に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



- ① 夏目漱石「ケーベル先生の告別」原稿
- ② 夏目漱石 漢詩扇面
- ③ 夏目漱石「明暗」草稿 表
- ④ 夏目漱石「明暗」草稿 裏
- ⑤ 夏目金之助 津田青楓宛書簡
大正元(1912)年12月4日付(部分)
- ⑥ 夏目漱石 水彩画 <収穫図>

芸術
家が孤独に安んぜられる程の度胸があつたら定めて愉快だらうと思ひますあなたへさう思ひませんか。

私の小説を読んで下さるのは難有いどうか愛想を尽かさずに読んで下さい。私、孤独に安んじたい。然し一人でも味方のある方がまだ愉快です。人間がまだ夫程純平たる芸術氣質になれないからでせう。



関連イベント ギャラリートーク

日時: 1月11日(土)、2月15日(土)、3月15日(土)、4月12日(土) / 午後2時~2時20分
場所: 漱石山房記念館地下1階講座室

新宿区立漱石山房記念館

(指定管理者: 公益財団法人新宿未来創造財団)
〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7

TEL.03-3205-0209
FAX.03-3205-0211

<https://soseki-museum.jp/>



交通のご案内

〈電車〉
東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分

〈バス〉
都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。